

整理番号	31004
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月8日
事業担当課	文化財課

《基本情報》

事務事業名	文化財保存活用地域計画策定費		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	A1 歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます		
基本施策の目的 (対象と意図)	対象	意 図	
	歴史文化遺産が	市民や事業者の理解のもとに、貴重な財産として、適切に保存・活用され、伝えられている。	
個別施策	A1-1 文化財を市民の誇りとして保存・継承し、有効活用を図ります		
個別施策の目的 (対象と意図)	対象	意 図	
	文化財が	適切な技法で保存継承され、広く公開・活用が図られている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	長崎の魅力の発信の充実及び更なる資源磨きにつながる、文化財の保存活用について、方向性や具体的な事業計画が完全でない。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	長崎の文化財に関する、今後10年の総合的な施策が「見える化」するよう事業計画を策定・周知する。
課題(どういふことをする必要があるのでか)	令和3年に行われた文化財保護法改正に対応して、「長崎市文化財保存活用地域計画」を策定し、魅力ある歴史文化遺産を中心とするエリアごとの文化財関連事業を明確にする必要がある。

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>平成27年の「長崎市歴史文化基本構想」(以下、「基本構想」と略。)をマスタープランに、令和2年3月に歴史まちづくり法に基づく「長崎市歴史的風致維持向上計画」を策定した。これにより東山手・南山手区域を「重点区域」と定め、歴史的建造物を中心とするまちづくり事業を展開中である。</p> <p>本事業は、基本構想策定後の本市の状況や、令和3年6月の文化財保護法改正に伴う国登録文化財の無形・民俗分野への新設等に対応し、下記のような新しい歴史文化遺産を掘り起こすとともに、「基本構想」に設定された東山手・南山手以外の区域を対象に、文化財関連の事業計画を策定する。</p> <p>【掘り起こすべき新しい歴史文化遺産の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化、芸能</li> <li>・昭和30年代辺りの「未来の文化財候補」</li> <li>・「恐竜」から昭和30年代頃までの「シームレス」な長崎文化の抽出</li> </ul> <p>【事業期間】令和4～5年度 【総事業費】21,142千円 【事業費内訳】令和4年度 旅費・報酬等:756千円 策定支援業務委託料(調査):9,031千円 令和5年度 旅費・報償費等:1,032千円 策定支援業務委託料:9,960千円 策定周知のためのシンポジウム開催費など:357千円</p> <p>【補助率】国1/2</p>
--	---

業務量の増減	1,311時間の増(なお、本事業は新規事業であり、職員の1名増を要求)						
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働						
	委員への参加(連合地区自治会長を想定)、市民向けアンケートの実施、策定周知のためにシンポジウムの開催						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 ( R4年度～ R5年度 )						
予算額		金額(千円)	国※	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	9,787	4,891				4,896
	総額	21,142	10,566				10,576
	財源名称	文化芸術振興費補助金					
成果(活動)指標	指標(単位)	委託料成果物一式の納品					
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	目標値	1	1				
	成果指標及び目標値の説明	令和4年度は計画の基礎資料作成、令和5年度は計画の策定を目標としているため、それぞれの委託成果品の納品物をもって成果指標とした。					

## 評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input type="checkbox"/> 採択	<input type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input checked="" type="checkbox"/> 不採択	<input checked="" type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>令和3年6月の文化財保護法改正に伴い、目指す目標や中長期的に取り組む具体的な内容を記載した文化財の保存・活用に関する基本的なアクションプランを策定するものである。</p> <p>指定文化財に限らず、食文化や郷土芸能等を一体的に把握し、総合的な事業計画を策定する事業であるが、次の理由により不採択とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山手地区で歴史的風致維持向上計画のアクションプランを作成する予定がある現時点では、まずは山手地区の取組みを優先すべきであると考えられる。</li> <li>・その場合、山手地区の取組みの横展開や、市全域での調査などを考えると、令和4年度からの2年間での策定はスケジュール的に困難であると考えられる。</li> <li>・また、本計画が現時点で国の補助の嵩上げの要件となっていないこと。</li> </ul>	